

令和5年度 中央区立月島第二小学校 外部評価報告書
評価委員：竹田都子委員 則武一光委員 渡邊美希子委員 加藤則道委員 村上公一委員 角山良敬委員 小川美佐子委員 松本昌之委員 川原崎武委員 報告書作成者：川原崎武委員
評価時期 令和5年2月
1 重点目標の評価 <u>重点目標1について<確かな学力を身に付けさせる教育活動></u> ○保護者アンケート・教員の評価ともに、全体的に昨年度よりも前向きな回答が多く、素晴らしい取組をされている。 ○教科担任制になると一人一人の先生との関わりが薄れていくため、子どもたちが先生に相談しにくくなる可能性があるのではないか。その一方で、多くの先生に触れるので、親近感をもっている先生に相談しやすくなる可能性もある。教科担任制が児童の悩みの相談のしやすさにつながっていくとよいのではないか。 <u>重点目標2について<豊かな心を育む教育活動></u> ○小学校の命と心の授業（特別授業）が素晴らしかった。 ○晴海西小学校ができることで学区が変わり、町会の半分が晴海西小学校の学区域になる。学区が違ふとことで同じ地域にいても子どもたちの関わりが変化する可能性があるため、そのことを配慮して考えていく必要があると地域として考えている。 <u>重点目標3について<健やかな心と体を育む教育活動 ></u> ○自分の子どもが大きく成長し、今は保護者としての立場や目線で、学校教育について見て、考えることは難しいが、学校の評価を含め、学校運営について地域として手伝っていきたい。 ○勤労感謝給食に参加し、栄養が考えられていることなどよく分かった。子どもが給食で出たメニューを家で食べたいと言うこともある。栄養士さんからレシピはいつでもお伝えできると聞いたので、保護者に積極的にレシピを知らせることで家庭での食事も豊かになるのではないかな。 2 今後の改善に向けた意見 ○A、Bの高評価における内容について、教員の評価でB評価の方が多いことの背景には、改善の余地が相応にあることを内包していることの表れであると伺い、共感した。一方、C評価をつけるとなると勇気のいる内容にもなるのではないかな。十分に達成している（A評価）、達成している（B評価）、改善を要する（C評価）では、BとCには間があるように感じる。BとCの間にある見えにくい内容を細かく読み取り分析できるようになることで、より精度が高まる評価になると思われる。 ○給食について、最近も事故のニュースがあったが、誤嚥などの心配がない安全な食べ物を出すよりも、安全な食べ方の指導にした方がよいのではないかな。